

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1121005		ソルフェージュ (Solfege)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 清水 慶彦  E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	楽譜の読み方・書き方など、音楽の基礎を学び、いわゆる「聴音」ならびに「視唱」などの基本的な訓練をおこなう。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 楽譜の基礎など、音楽科教員として必要な基礎的素養を身につけ、実施できる。																	
目標2 拍子とリズム、音高と音階について理解し、楽譜として記述できる。																	
目標3 平易な旋律聴音ならびに、平易な和声聴音を実施できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 ソルフェージュとはなにか																	
2 楽譜の書き方																	
3 拍子とリズム																	
4 リズムの聴取と書き取り																	
5 音高と音程																	
6 さまざまな音程の聴取と書き取り																	
7 音階と旋律																	
8 平易な旋律の聴取と書き取り																	
9 旋律の聴取と書き取り																	
10 旋律の視唱																	
11 二声の旋律の聴取と書き取り																	
12 和音と和声																	
13 平易な和声の聴取と書き取り																	
14 旋律と平易な和声の聴取と書き取り																	
15 旋律聴音と和声聴音の実施																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技・実演をとまなう能動的修学。					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	音楽的能力の維持・発展のための日常的な練習(30h)															
	事後学修	視奏・視唱・聴音などの技術的問題の解決のための練習(15h)															
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。																
参考書	『中学校の音楽』(1、2・3上下巻 教育芸術社)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業中の課題	50%															
	授業中の小試験、試験等	50%															
	授業中の課題、小試験、試験等により総合的に評価。																
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																